



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 345号 2011.4.20 発行 社会政策研究所

全国社会福祉協議会からの情報で、助成金情報 5 件お知らせします。

丸紅基金

<p>助成対象</p>	<p>社会福祉事業（福祉施設の運営、福祉活動など）を行う民間の団体が企画する事業案件で、次の条件を具備するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①申込者（実施主体）は、原則として非営利の法人であること （ただし、法人でない場合でも、3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする。） 2. ②明確な目的を持ち、実施主体、内容、期間が明らかであること 3. ③助成決定から 1 年以内に実施が完了する予定のものであること （平成 23 年 11 月から平成 24 年 10 月末までに実施される事業が対象） 4. ④一般的な経費不足の補填でないこと 5. ⑤申込案件に、国や地方公共団体の公的補填が見込めないこと、また他の民間機関からの助成と重複しないこと
<p>助成金額</p>	<p>助成金額は 1 億円を目途とし、50 件以上（概ね 70 件程度）の助成を行う。 1 件あたりの助成金額は、原則として 200 万円を上限とする。</p>
<p>申込期間</p>	<p>平成 22 年 4 月 15 日(木)より同年 5 月 31 日(月) （郵送の場合、5 月 31 日消印のものまで有効）</p>
<p>選考基準</p>	<p>以下の項目を勘案して選考する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①先駆的・開拓的の事業であって、社会福祉の充実・向上に波及効果が期待できること 2. ②緊急性が高いもの 3. ③社会福祉事業に従事する人々の環境改善等に役立つこと 4. ④直近 3 年以内に当基金から助成を受けている団体は

	優先度が低くなること
応募方法	申込書用紙など申込関係書類は、丸紅基金のホームページからダウンロード (http://www.marubeni.or.jp/) できる。またはファックス、ハガキ、E-mailにて、郵便番号と住所、団体名、担当者、電話番号、ファックス番号を明記の上、丸紅基金に請求してください。
問合せ先	〒108-0014 東京都港区芝 5-20-6 丸紅東京本社三田別館 4階 社会福祉法人 丸紅基金 ≪4月28日(木)まで≫ TEL : 03-5446-2474・2475、FAX : 03-5446-2476 ≪5月2日(月)以降≫ TEL : 03-3282-7591・7592、FAX : 03-3282-9451

清水基金

助成対象	<p><一般助成事業></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①障害児・者福祉の増進を目的として運営されている民間社会福祉法人施設の機能整備事業 2. ② 同上施設が行う、在宅福祉サービス等地域福祉活動推進のための機能整備事業 <ul style="list-style-type: none"> • ※原則として開設後1年経過した施設で、過去3年間清水基金からの助成を受けていない法人 • ※NPO法人は対象になりません <p><海外研修事業></p> <p>民間社会福祉法人において障害児・者の処遇に従事しており、海外の施設等において先進的な課題を持ち、意欲的に挑戦する方</p> <ul style="list-style-type: none"> • Aコース(3ヶ月) 実務経験3年以上で27歳以上50歳未満、日常的な英会話能力及び専門知識を有し、勤務先法人代表者の推薦を得た方 • Bコース(1ヶ月) 実務経験1年以上で20歳以上40歳未満、日常的な英会話能力を有し、勤務先法人代表者の推薦を得た方
事業内容	<p><一般助成事業></p> <ul style="list-style-type: none"> • 施設福祉及び地域福祉に必要な建物・機器・車輛等の整備 • 総額は2億2000万円(予定) • 1法人当たり1件、助成金は原則として50万円以上、700万円以内 • 原則として、申込者が事業費の30%以上50%未満を負担 • <u>東北地方太平洋沖地震による施設整備復旧事業は優先</u>

	<p><u>する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業への取り組みが熱心、かつ自助努力が見られる法人を優先する <p><海外研修事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 研修期間は平成24年4月～7月(Bコースは5月まで) Aコース(3ヶ月) 3名以内 1名当たり160万円以内 Bコース(1ヶ月) 5名以内 1名当たり80万円以内 両コースとも、アメリカ・シカゴでの2週間の合同研修を実施
申込期間	<p><一般助成事業> 平成23年5月1日～6月30日</p> <p><海外研修事業> 平成23年5月1日～6月30日</p> <p>※海外研修事業については、語学・小論文テスト(平成23年7月)・面接(平成23年9月)を実施し選考する。</p>
採否の発表	<p><一般助成事業>平成24年1月下旬</p> <p><海外研修事業>平成23年9月(内定)</p>
応募方法	<p>一般助成事業・海外研修事業とも返信用封筒(A4版宛名記入、140円切手添付)を同封の上、担当者名を明記して、直接清水基金へ請求する。</p>
問合せ先	<p>〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルヂング3階 社会福祉法人 清水基金 TEL 03-3273-3503 FAX 03-3273-3505</p>

大同生命厚生事業団

①地域保健福祉研究助成

助成趣旨	<p>地域で保健および福祉の活動に従事されている方々の研究を支援することにより、わが国の保健および福祉の向上に寄与することを目的とする。</p>
応募資格	<p>*保健所、衛生研究所等衛生関係機関に所属する職員</p> <p>*都道府縣市町村の衛生および福祉関係職員</p> <p>*保健・医療・福祉の実務従事者</p> <p>上記応募資格者による共同研究も可。大学病院の職員等は応募対象者に含む。ただし、大学の教員、大学院生の単独研究または主研究者となる研究は不可。また、過去5年以内に当財団の助成を受けた人(グループ)は除く。</p>
研究課題	<ol style="list-style-type: none"> (1) 地域保健および福祉に関する研究 (2) 在宅・施設の医療、福祉および介護に関する研究 (3) その他住民の健康の増進に役立つ研究

研究対象	特定地域を対象とした研究とする。
助成金	総額 1,800 万円以内 1 件 原則 30 万円 特に優秀な研究については 50 万円限度で助成。 直接研究に要する費用とし、パソコンの購入費用、学会参加費用などは助成の対象としない。

②サラリーマン（ウーマン）ボランティア活動助成

助成趣旨	サラリーマン（ウーマン）のボランティア活動を支援することによりサラリーマン（ウーマン）のボランティア活動の振興と社会福祉の向上に寄与することを目的とする。
応募資格	社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン（ウーマン）の個人もしくはそのグループ（グループの場合、サラリーマン（ウーマン）が 80% 以上であることを要す）。ただし、過去 5 年以内に当財団の助成を受けた人（グループ）は除く。
対象となる活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. (1)高齢者福祉に関するボランティア活動 2. (2)障害者福祉に関するボランティア活動 3. (3)こども（高校生まで）の健全な心を育てる交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの <p>※例えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①こどもと高齢者との交流 2. ②こどもと外国人との交流 3. ③健常のこどもと障害を持つこどもとの交流 4. ④こどもと働く人々との交流 5. ⑤不登校児、ひきこもりのこどもとの交流 <p>など、ただし少年野球・サッカーなどのスポーツ活動や通常のこども会活動は除く。 いずれも目的、計画等が明確な日本国内での無償の活動とする。</p>
助成金	シニアボランティアと合わせて総額 600 万円以内 1 件 原則 10 万円 内容が優れている場合は 20 万円限度で助成 直接ボランティア活動に要する費用とし、シンポジウムや講演会開催、グループの事務所家賃、パソコンの購入費用、ボランティアグループのためのセミナー・講習会の開催などの費用は助成の対象としない。

③シニアボランティア活動助成

助成趣旨	シニア（年齢 60 歳以上）のボランティア活動を支援することにより、シニアのボランティア活動の振興と社会福祉の向上に寄与することを目的とする。
------	---

応募資格	<p>社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア（年齢 60 歳以上）の個人もしくはグループ（グループの場合、シニアが 80%以上であることを要す）。ただし、過去 5 年以内に当財団の助成を受けた人（グループ）は除く。</p>
対象となる活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. (1)高齢者福祉に関するボランティア活動 2. (2)障害者福祉に関するボランティア活動 3. (3)こども（高校生まで）の健全な心を育てる交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの <p>※例えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①こどもと高齢者との交流 2. ②こどもと外国人との交流 3. ③健常のこどもと障害を持つこどもとの交流 4. ④こどもと働く人々との交流 5. ⑤不登校児、ひきこもりのこどもとの交流 <p>など、ただし少年野球・サッカーなどのスポーツ活動や通常のこども会活動は除く。 いずれも目的、計画等が明確な日本国内での無償の活動とする。</p>
助成金	<p>サラリーマン(ウーマン)ボランティアと合わせて総額 600 万円以内 1 件 原則 10 万円 内容が優れている場合は 20 万円限度で助成</p> <p>直接ボランティア活動に要する費用とし、シンポジウムや講演会開催、グループの事務所家賃、パソコンの購入費用、ボランティアグループのためのセミナー・講習会の開催などの費用は助成の対象としない。</p>

※共通事項

応募方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①当財団所定の申込書に所定事項を記入のうえ、郵送してください（E メールでの提出は不可）。 申込書は当財団のホームページよりプリントできます。またはファックス等で請求してください（応募は必ず A4 サイズで送付してください）。 ホームページ URL:http://www.daido-life-welfare.or.jp 2. ②いずれの助成にも応募資格等条件がありますので詳しくは、当財団のホームページ「Q&A」をご覧ください。 3. ③ボランティア活動助成の応募では、グループの場合は別途「グループ名簿」を提出いただきます（グループの 80%以上がサラリーマン(ウーマン)、またはシニア(年齢 60 歳以上)であることが必要です)。 4. ④研究助成では「研究部門」と「研究課題」の該当する内容を必ず選択してください。
------	---

	5. ⑤同時に複数の助成に応募することはできません。
選考方法	当財団選考委員会で選考します。
募集期間	平成 23 年 4 月 1 日（金）より平成 23 年 5 月 31 日（火）必着（締切日厳守）
発表	平成 23 年 8 月下旬までに、応募者へ文書により通知します。
助成金贈呈	平成 23 年 9 月～10 月（予定） ※助成金は、贈呈式終了後速やかに受贈者（代表者）名義の口座宛にご送金します。助成金受領前に、「助成に関する覚書」をご提出いただきます。
報告	助成金受贈者には、平成 24 年 10 月末までに研究または活動の成果を所定の様式と CD データで当財団へ報告いただきます。
書類送付・ 問合せ先	〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1 丁目 2 番 1 号 大同生命大阪 本社ビル内 公益財団法人 大同生命厚生事業団 事務局 TEL : 06-6447-7101、FAX : 06-6447-7102

ニッセイ財団

助成の主旨	高齢者問題はますます複雑・多様化し、高齢者の健康・生きがいづくりをはじめ、高齢者が自ら参加して生きいきと暮らせる共生社会づくりや、要介護の高齢者を地域で支える共生コミュニティづくりが重要な課題となってきました。 これらの課題に応えるために、「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに、次の 2 つのプログラムを展開しております。
助成対象活動	<実践的研究助成> この助成は、「高齢社会における地域福祉・まちづくりや高齢者の社会参加等のシステムづくり、あるいは認知症高齢者の予防からケアまでの総合的な対策を探求する実践的研究」に取り組む人々に対して助成を行うものです。1 件当たり最長 2 年、助成金合計 200～250 万円程度の助成を行うもので、毎年 5～8 件程度に対し新規助成しております。 募集は、公募方式で 3～6 月に実施いたします。 <先駆的事業助成> この助成は、「高齢社会における地域福祉・まちづくりや高齢者の社会参加等のシステムづくり、あるいは認知症高齢者の予防からケアまでの総合的な対策を目指す先駆的事業」に取り組む団体に対して助成を行うものです。1 団体当たり最長 2 年半、助成金合計 700 万円を限度に助成を行うもので、毎年 2～3 団

	<p>体程度に対し新規助成しております。 募集は、公募方式で3～5月に実施いたします。</p>
応募方法	<p>所定の申請書でご応募下さい。申請書、応募要項については、ニッセイ財団のホームページからダウンロードできます。</p>
問合せ先	<p>〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号 日生今橋ビル4階 日本生命財団 高齢社会助成 事務局 TEL.06-6204-4013</p>

■その他詳細についてはニッセイ財団のホームページ
(<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/index.html>) をご覧ください。

明治安田こころの健康財団

助成の主旨	<p>明治安田こころの健康財団は、精神保健分野での健康の増進に寄与することを通じて、社会に貢献することを目的として活動しています。活動の柱は、児童・青少年の健全育成と精神発達障害児の療育、家族・家庭問題、高齢者の精神保健・福祉問題に関する事業等の3つです。社会の変化に伴い、これら対象領域における問題はますます広がり複雑さを増しつつある状況にありますが、これらの問題に対応するための基礎的・臨床的研究への助成を行います。</p>
助成対象となる研究分野と研究領域	<p>a) 研究分野 ①心理学・医学的研究 ②社会学・社会福祉学的研究 b) 研究領域 ①子ども（乳幼児期から思春期・青年期まで）に関する精神保健・福祉の領域 ②家族・家庭の問題に関する精神保健・福祉の領域 ③高齢者に関する精神保健・福祉の領域</p>
応募方法	<p>所定の申請書でご応募下さい。申請書、応募要項については、明治安田こころの健康財団のホームページからダウンロードできます。</p>
問合せ先	<p>〒171-0033 東京都豊島区高田 3-19-10 財団法人 明治安田こころの健康財団 総務部長 栗林 快枝 e-mail:kenkyujyosei@my-kokoro.jp TEL:03-3986-7021 FAX:03-3590-7705</p>

■その他詳細については明治安田こころの健康財団のホームページ
(<http://www.my-kokoro.jp/>) をご覧ください。

以上